

News Release

平成 29 年 11 月 30 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 柳 正憲

住友ゴム工業（株）に対し、 「DBJ環境格付」に基づく融資を実施 ー最高ランクの格付を取得ー

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、住友ゴム工業株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：池田育嗣、以下「住友ゴム」という。）に対し、「DBJ 環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

住友ゴムは、明治 42 年、日本初の近代的ゴム工場として創業したタイヤメーカーであり、現在では、タイヤ、スポーツおよび産業品の分野でグローバルに事業を展開しています。住友ゴムは、重視する価値観・行動原則を定めた「住友ゴム WAY」を礎に、地球環境への取り組みを重要な経営課題の一つと位置づけ、CSR ガイドライン「GENKI(Green:緑化、Ecology:事業活動の環境負荷低減、Next:次世代型技術・製品の開発、Kindness:人にやさしい諸施策、Integrity:ステークホルダーへの誠実さ)」に沿って、優れた水準で環境経営を実践しています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 精緻なデータ分析に基づく業務改善活動やコスト削減活動を推進し、全従業員を巻き込みながら生産プロセスの不断の改善を実施することで生産性向上と環境負荷低減を実現している点
- (2) 高い技術力に裏打ちされた環境配慮商品の普及拡大に加え、CSR に配慮したサプライチェーン管理を推進し、長期ビジョンにおいても、環境対応技術・製品の開発を定めるなど、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速させている点
- (3) 従来から取り組んできた社会貢献活動「GENKI 活動」を発展させて CSR 活動の枠組みを整理し、早期から非財務情報開示の潮流を捉まえてマテリアリティ特定に取り組み、CSR 側面の目標管理を実施している点

その結果、住友ゴムは「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しました。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの
弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展
を実現します～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的
に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

関西支店 企画調査課 電話番号 06-4706-6455